



# ふじ美が原

富士見中学校  
平成23年4月28日

## 校歌制定披露の式

ありがとうございました。

三村 学校長 挨拶

### 「生涯を通じての心の糧に」

本日ここに、大変お忙しいところ、校歌の作詞をしていただきました重松 清様、作曲をしていただきました唐澤史比古様をはじめ、ご来賓、町関係、地域、PTAの皆様にご臨席をいただき、ここ富士見中学校に在籍しております生徒、教職員と共に、校歌制定・披露の式ができますことにまず、心より深く感謝申し上げます。

また、今日まで、富士見中学校の教育の創造のため、物心両面にわたり多くの皆様に、それぞれのお立場から多大なるお力をいただきましたことにも、重ねて厚く御礼申し上げます。

本来ならば、昨年度二月に予定していた式でありましたが、インフルエンザ罹患等のこともあり、本日まで延期をさせていただきました。多くの方々に、ご迷惑、ご心配をお掛けしましたことにもお詫びを申し上げます。

さて、私たちが待ち望んでいました、富士見中学校の校歌が出来上がりました。重松様には、昨年度より、富士見町にご来町いただき、富士見町の自然、文化に触れていただいたり、生徒の活動の様子を見ていただいたりしながら、詞の構想を練っていただきました。また、唐澤様にも、本校の全クラスの合唱指導を練っていただきました。

そして、昨年度の三月の卒業式には、卒業生、在校生、そして教職員がこの校歌を歌い、富士見中学校の第一期の卒業生を送ることができました。卒業生も短い練習の期間でありましたが、自分たちの校歌として、在校生と共に練習し、歌い、巣立っていきこうという気持ちも本当に感じられる、態度、歌声でもありました。統合から一年、感慨深いものがありました。

昨年度一年生のAさんは、この校歌に接した時に、「今日、校歌の練習が六時間目にありました。校歌の歌詞、曲をはじめ聞いてみたときから思っていたことだけれど、とても校歌っぽくない曲で、とても明るく変わった歌詞の曲で、よく考えてみれば、どの学校もずっと前からある校歌を受け継いできたのに、私は富士見中の一年生として、学校ができたところから、校歌の誕生も身近で感じられることが、凄いことだと思いました。」

三年生のBさんは、「今日、校歌の練習をしました。声を入れるのは初めての歌だったので、感動的でした。メロディを聞いた時より歌いやすかったです。歌うのは短い間だけれどそれまでにしっかりと歌いたいと思います。等々の言葉を寄せてくれました。」



また、本校のC先生は、学級の生徒に向けた学級通信で、「校歌は、思い出すだけでその学校で暮らした日々がよみがえる。これからみんなは富士見中学校の校歌を一生覚えていくだろうし、いくつになっても、校歌を思い出すだけで、今の中学校生活を思い出すだろう。校歌に思いを寄せて、今までのどんな歌よりも大切にしていって欲しい。」とメッセージを寄せていました。

校歌には、長い年月離れていても、共に歌えば、たちまち青春の思い出を詠みがえらせる不思議な力があると思います。統合という大きな節目に関わった私たちは、考える以上に校歌に対する思い入れも深いものになっているのではないかと思っています。

これから歌い継がれていく富士見中学校の校歌で象徴される、富士見中学校に対する誇りと自覚の姿が、私たちの歌声で、伝統としてつながっていくために、この校歌が、富士見中学校で学ぶ一人一人の心のよりどころになることはむろんのこと、明日への活力そして、生涯を通じての心の糧になることを願い、私のお礼の言葉とさせていただきます。

ありがとうございます。



「校歌を歌いながら、大事な日々を生き、新しい夢を探す」

近藤 洋平君

この校歌を初めて聴いたとき、「とても良い校歌だな」と思いました。みんなと授業を受け、遊び、笑い合っている教室、仲間と走り、競い合い、遠くには八ヶ岳や富士山の見えるグラウンド、私たちが生活している皆さんの風景や皆さんの気持ちが歌詞にこめられ、そしてその言葉が大変きれいなメロディーに乗せられているこの校歌がすぐに好きになりました。

私は今、二年目の生徒会を引き継ぎ、先輩方がつくってくれたものをより良くして次へ引き継げるようにと考え、活動を始めています。この新しい校歌も、これから次に続いていくのにふさわしい歌声で歌っていききたいと思います。

この校歌を歌いながら、大事な日々を生き、新しい夢を探し、この三年間を過ごしていくことと思います。

これから歌い継がれていく校歌の歴史のページをめです。このよき日に、この場にいることを誇りに思い、全校で歌うことで完成するこの校歌のページをめのために、精一杯心をこめて歌います。

最後になりましたが、素晴らしい校歌の歌詞を作詞してくださった重松清先生、作曲をしていただき、一昨日も合唱指導に来てくださった唐沢史比古先生、そして、校歌の作成を進めてくださった全ての皆様のおかげで、この校歌を歌うことができます。本当にありがとうございます。

## 富士見中学校校歌

作詞 重松 清  
作曲 唐沢史比古

- |   |   |   |
|---|---|---|
| 1 いちばん大事なものがさう きみと<br>新しい夢 あるから きっと<br>しらかば すずらん 花咲く丘で<br>話そうよ 笑おうよ<br>いつも見てるよ ほら<br>窓の外には 夢の道しるべ<br>富士見 富士見<br>この教室が ふるさと<br>青春のふるさと | 2 いちばん大事な日々生きよう きみと<br>新しい道 つくろう もっと<br>あおぞら ゆうやけ 風吹く丘で<br>歌おうよ 走ろうよ<br>遠くはるかに ほら<br>雪をかぶった 夢の道しるべ<br>富士見 富士見<br>このグラウンドが ふるさと<br>青春のふるさと | 3 いちばん大事なこと<br>ちかおう きみと<br>幸せな時 忘れずに ずっと<br>はるなつ あきふゆ 星降る丘で<br>出会ったね 愛したね<br>思いだすだろう ほら<br>きみと見上げた 夢の道しるべ<br>富士見 富士見<br>このまなびやが ふるさと<br>青春のふるさと |
|---|---|---|



東北関東大震災 及び  
長野県北部地震

義援金のご協力ありがとうございました。

これからのいつまでもいつまでも富士見中学校の生徒が歌い継ぎ、心の友としていく素敵な校歌が誕生しました。

開放二年目を迎えた富士見中学校でこれから私たちは様々なことを経験していきます。

うれしいこともつらいことも、今、このときだからこそ味わえることを、たくさんたくさん、この富士見中学校で積み重ねていくでしょう。

そのどんなときでも、私たちの心の支えとなり、私たちを励まし、勇気づけ、安らぎと、希望を与えてくれる、それが、この校歌です。

私たちを支えてくださる、全ての人への感謝の想いと、中学校生活への、決意を込めて歌います。

私たち、富士見中学校の校歌を、お聴きください。

(松坂 春子さん)

富士見中学校生徒会 50,425円  
富士見中学校PTA 47,060円  
短い期間ではありましたが、暖かいお気持ち、ありがとうございました。関係機関へ送らせていただきます。  
(校歌制定を祝う会の残金は義援金に入れさせていただきました。)

富士見町立富士見中学校  
諏訪郡富士見町富士見 4654 番地  
TEL 0266-62-2009  
FAX 0266-62-7409  
伊藤十三雄